

和田東郭 医案④

一婦人、咳嗽発熱し面赤く短気、飲食ともに吐し、水薬も嘔し尽す。虚労にも見えず、妊娠とも見ゆ。中西至馬 診て曰く、黄連湯の症なり、と。本方を与うることに数日、次第に羸瘦し嘔吐して水などを受けず。是れを診て曰く、妊娠なり、と。三味の慎火方を小剤にして与へて、頓に水薬納らざれども、数日の間、嘔吐に食物も収まらざる故に体疲れ羸瘦甚し。漸々に諸症愈えて安産す。是には腹診甚だ模様あり。容易に弁じ難き所なり。